

〈学習の導入〉

- ・ 鉛筆は一本、今日書くノートの所に挟んでください。
- ・ 家で「かさこじぞう」読んでみた人。(C 挙手)
- T さっそく読んでもらいます。立って、ゆっくり大きな声で読んでください。聞く人も本を持ってしっかりと聞いてください。

*よむ

T 本を静かに置いてください。おとといの人もよかったけど、今日の八人もよかった。大きな声でゆっくり読んでくれました。考えて読んでる、というのがこのクラスの子は、いいところですよ。

- ・ 前時を振り返るのに黒板右上に線分を板書。

T 一年のうちのいつの話だったか。 C 正月。

T お正月・・・。明日はお正月、と言う話。ということは今日は？

C 大みそか。

T 明日、お正月なのに、何の用意もできない。じいさまとばあさまは何をしたんだった？

C もちをつくまね。

T その前。最初にやったのは？

C かさこを売りに行った。

T その前にやったことがあるよ。 C 作った。

T 何のために作ったの？

C 雪に当たらないように。

T 作ったわけがあったんだね。

C 上げがさを売って、もちこを買う。

T もちは誰のための準備？ C じぞうさまのため。

T おしい。

C お正月のため。

T そうだったね。大みそかにかさこを作っておもちを買うつもりだったね。買えましたか。 C いいえ。

T でも、お正月の用意をしてくれた人がいます。だれだった？

C かさこじぞう。

T そうだ。じぞうさまが用意してくれた。おもちだけだった？

C にんじんやごぼうや・・・。

T どうしてそんなにしてくれたの。

C じぞうさまにじいさまがかさこをかぶせてくれたから。

C じゃ、恩返しですね。

T じいさまが、じぞうさまにしてあげたことを書いて勉強します。何番に書いてあった？

C 四番。

T 三番にも書いてあります。(書く場所、四文を書くよう指示。)

- ・ 教師も同様に黒板に書き、それを確かめて書いてもよいことを伝える。
- ・ 板書を終え、読み返す。児童のノートを見て回る。

*かく



T 途中の人もいますけど、残ったのは家で書いてね。鉛筆をノートには
さんと、閉じます。教科書も閉じます。
みなさんの字、どの人も大きな字でした。大きな字でゆっくり書くと
いいんだよ。家でもそうしてね。

T まず、読みます。声を出さないで、こっち（黒板）を見てね。
T しっかり声を出して読んでください。合わせてね。

T 分からない言葉、あるかな。おつむは？ C 頭。
T セなは？ C 背中。

T かきおとす、分かる？

C やさしくなでて、下に雪をおろす。

T やさしく、というより、固まっているのをぐっとやるんだよ。

T 手ぬぐい、大丈夫？ つぎはぎは？

何回も使っているので、穴があきます。そこに布をあててまた縫いま
す。そういうのがたくさんあるのが、つぎはぎだ。

T じぞうさまが立ってるのは野っ原だったね。天気は。 C 雪。

T どのくらいの雪だった。 C 吹雪。

T 雪の量は。どうなの。 C 多い。

T いっぱい降ってくるんだ。（板書、雪を・・・でたくさん描く。）

T 吹雪、雪だけ大変なの。 C 風です。

T 風も大変。（板書、風を線で描く。）

T じいさまがしたこと、確かめよう。始めにしたことは？

C かさこをかぶせました。

T 最初にしたことですよ。

C じぞうさまの雪をかきおとした。

T そう、それを一つ目にやった。次は。

C じぞうさまのかたやらせなやらをなでました。

T 次にやったのは。

C 風でとばぬよう、しっかりあごのところでむすんであげました。

T 大事な言葉、どれだ？

C あげました。

T むすんで、が大事だよ。次は。

C じぞうさまにかぶせました。

T これ、六番目なんです。もう一つあるんだよ。

C とると。

T そう、それが五つ目。では、お話を二つに分けるよ。こっち（後半）
は。じぞうさまに・・・

C じぞうさまにかぶせた。

T こっち（前半）は。 C 雪をとってあげた。

T じぞうさまは何人。 C 六人。

T おつむの雪は、何でかきおとすんだ。

C 自分の手。



*よむ（指黙読・指音読）

*とく

T 手ですよ。冷たい雪をかきおとすんだよ。それを六人。

C 大変そう。

T 次、なでました。六人みんななでるよ。手、どうなる？

C 冷たくなる。

T そこまでやって、じっさまは安心した？ C まだ。

T どうして。

C じどうさまのせなかとか、なでていくから。

C もちこを買えなかったから。

C かぶせるものがないから。

C 雪がどんどんふってきて、またなるから。

T そう、安心できないから、かさこを？ C かぶせた。

T とん、とのせればいい？ C だめ。 C とんじゃう。

T とばないように、かさこをとって、一人結び(その動作をまねしながら)、二人結び・・・五人まで結んで、六人目、ない。どうした？

C 自分のつぎはぎをかぶせた。

T そう、自分の手ぬぐいをかぶせましたよ。つぎはぎの手ぬぐいは一つしかないんだよ。その手ぬぐいをかぶせました。

T こっち(前半)で冷たくなったのは何。 C 手。

T こっち(後半)では。 C 頭。耳。

T そういう話です。やっている間、じいさまは誰のことを考えていたの。

C じどうさま。

T ここでもじどうさまのこと。ここでもじどうさま。(・・・言いながら「じどうさま」四か所に傍点を付ける。)そうやってあげたお話でした。

T 読みましょう。(C 板書を音読。)

